



H A G A N E N O M E S S I Y A

鋼鉄の飯屋



FOR ADULT ONLY

リーザ工房





雷神よ 来たりて
私の敵を討て！

たぶん♡



ティターonz
再興のために！

たぶん♡



なんでマタシだけ...

無い胸は
揺らせないものね





せっかく恋人が
作ってくれたものを
無に済ませる気か？

そうよ ブリット君
そのドリンクには
クスハちゃんの愛情が
詰まっているんだから

し…しかし
キョウスケ少尉

俺ならやる

は？

そして無事な方に
賭ける

それって全然駄目
って事では？

……
ごめんね
ブリット君……

私……

全然
ブリット君の
気持ち考えて
なかった……

べ…別にちゃんと
付き合っている
訳じゃないんだし
押し付けがまし
かったかな……

えっ…
いや別に
そんなんじや

ごめんなさい！

わ……
私、部屋に
戻るから！

ク……
クスハ！

クッ

泣かしたか
……

泣かした
わね……

ク……
なんて事だ
オレがはつきり
しなかったばかりに

クスハの純粹な想いに
傷をつけてしまった

追ってやれ
彼女もそれを
待っている

キヨウスケ
少尉……

そして
彼女のドリンクを
飲んで来い！

えっ
やっぱり？

そ、
やっぱり♡

クスハの自室

ふう……



ゴキウ



!



さっきの事
誤りたいんだ



クスハ...

いるか?



ク...

ブ...
ブリット
く...ん...

クスハ!

俺

俺

俺

何があつたんだ？



ハア……
ハア……

か……
体が熱いの



さ……さっさきの
ドリンク……
飲んだら……



だ……駄目……
頭……変になりそ……

し……したいの
ブリット君
お……お願い……

……ごめんなさい
我慢出来ないの

お……おい





こ...
これよ...
これが欲しかったの



ク...
クスハ



バ...バカ...
自分が何を言って...

ねえ
これちょうだい



うわあああっ!



ハア……

クスハ……

ハア……

ごめんね
薬のせいだから

私の事、嫌いに
ならないでね

はしたない
女の子だなんて
思わないで

お……おいお前
ま……まだ……





うああ

初めては
ブリット君って
決めてたから

だ...
大丈夫だから

アッ アッ アッ



すごい
太...いい...

ゴリゴリくる
よお...



す...
すごいブリット君の
全部入っちゃった

キキ
ゴッゴッ



はアーンズッ

ズッ

ズッ

ズッ

へ…変なのお
おっぱいが…

たっ。たっ。

おっぱいが
張っちゃう〜

たっ。

ち…乳首が
痛いよお

出ちゃうっ

どうしたんだ
クスハ?





あはア

や...やだ...
ミルクが...
と...止まんないよお



ズッ

ズッ

ズッ



な!



う……うん
だいぶ良くなったよ
気持ちいい……

どう……
少しは落ち着いたか？

ズッ

ズッ



ごめんな
クスハ

いつも寂しい
想いをさせて
……

ううん
もういいの



こうして
ブリット君と

一つになれたから



ああっ!

クスハ……♡

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

あ



すごいよ
ブリット君

まだ大き〜……



ズッ

はあ

あっ

ズッ



あ♡

あん♡

あん♡



んっ

んっ



ああっ
ブリット君!

ブリット
くうん

ズッ

ズッ



くっ…
で…出るっ…
クスハ…!!

う…うん

き…来て
ブリット君
私の中に

あゝ!



ク…
クスハ!

ブリット君



あああ〜!

びく

びく

ド

ド



ブリット君

クスハ...



はあ

はあ



これを利用すれば
私もキヨウスケと
朝までしっぽりと……♡

すこいわ
クスハちゃんのドリンクに
あんな効果があったなんて



わお♡

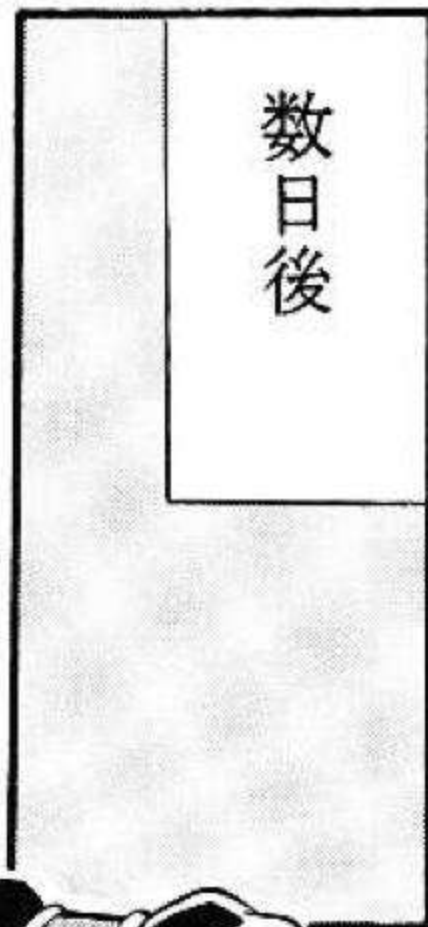
ドキドキ



♡ キヨウスケ

じゅるり♡

ハア……
ハア……



数日後



エクセレンの奴
何のつもりだ
改まって部屋に来いなんて

カツカツ

おいエクセレン
入るぞ

ブシュー



うわあああつ！

しつかりしろ！
一体何があつた

遠のく意識の中、
これは毒物だと
確信する
エクセレンであった

そりゃ…
そうよね…

ゴ…

こんなの飲める人間なんて
宇宙広しと言えど
クスハちゃんくらいなのだ

え…
何か変ですか？

ニ

ゼオラ調教編

夜な夜な繰り返される

「教育」と言う名の陵辱……

ぢゅ
ぱ
ぢゅ

彼女の求めた理想は
テイターズには
存在しなかった



「ティターンズ再興」…
彼女の想いは無残にも
打ち砕かれた

んっ

んっ

用済みとなった女兵は
彼らの奉仕の道具に
成り下がる

そこに有るのは
従来の華やかさではなく
ただの雄と雌の淫らな
狂宴である

ズッ

ズッ

ズッ



まだ男を知らない秘肉は
抵抗も虚しく安々と
その欲棒を受け入れ、
汚された膣に
男たちが次々と侵入して来る

あっ

いくら懇願しようとも
獣達の行為は
止まることはない……

はあ

ああっ

ビク

ビク

ビク

そして彼女は堕ちていく……
ただ、この快樂に身を任せ

かつての理想と愛しい人の
名すら忘れて……

ズッ
ズッ



あとがき

・みなさん、こんにちは王者之風です。

今回は第2次α本な訳ですが・・・以前予告していたエクセレン本は内容を変更・・・という
か落ちました。

ゴメンナサイ m(_ _)m

・以前から気になっていたクスハですが、あ
の見事な乳揺れを見せられたら・・・

・次回の本はゼオラを予定しています。個人
的にはクスハよりもエロに持っていき易い
気がします。とにかく、今回よりもよりハー
ドなエロを目指しています。

激ラブなイルイちゃん→
ただ、髪の毛を下ろすと
誰だか・・・(笑)

発行 りーず工房
発行日 2003年5月15日
発行者 王者之風
印刷 共信印刷様



おまけ♡

ああ

ああっ

ズッ

ズッ

そんな事じゃ
家賃なんざ払えねーぞ
アイビスちゃんよお

オイオイ
もっと気合を入れて
腰を振れや!

ククク…
まだまだ稼げるわね♡

待てコリアー!

